

幸手市立西中学校
学校だより

りゅうかんたくどう

流汗拓道

令和3年度3月号
幸手市下川崎387
☎43-4611
生徒数 534名

「無駄な経験なんて何一つない」

校長 野口 祐人

北京オリンピック大会11日目、カーリング女子日本代表ロコ・ソラーレが中国と対戦し、見事勝利した後のインタビューで、サードの吉田知那美選手の語った言葉です。

「4年前の平昌五輪のときも大会中盤に研磨（ストーンの研磨）が行われて、私たちはそこで大きな失敗をした。その失敗がこの試合にすごく生きたと思ったので、本当に無駄な経験なんて何一つないんだと試合をしながら思っていた。」

カーリング日本女子代表チームが見せる笑顔と仲間同士をお互い支え合う姿は、日本国民だけでなく、対戦国からも称賛されるほどでした。そんな、私たちから見ればほとんど完成されたチームのようにしか見えない彼女たちであっても、オリンピックという舞台上で「大きな失敗」という経験をして、その経験を生かしているのだと改めて教えてもらったような気持ちになりました。

これからこの西中を卒業していく3年生の皆さん、この卒業時に思い通りの進路を実現した人もそうではなかった人も、吉田さんの言葉通り、人生、無駄な経験なんて何一つないのです。進級を控えた1、2年生の皆さんについても同じです。うれしい経験もつらい経験も、勝った経験も負けた経験も、成功した経験も失敗した経験も、その他の様々な経験も全て無駄ではないのです。ただ、一步踏み出さないとできない経験はあります。頑張った人にしかわからない経験はあります。チャレンジ精神は忘れず、これから出会う様々な経験を、そして今まで経験したことを、全て自分の学びに変えて、これからの自分の人生を歩いてほしいと思います。その道のりは、なりたい自分につながる道ですし、心を豊かにする道でもあると思います。1年生から3年生まで、皆さんの今後の充実したものになるよう願っています。

少し早いかもしれませんが、3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして1、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。

追記

吉田知那美選手の座右の銘（いつも自分のそばに置いておく、重要な言葉）

「笑うということは、諦めないという決意。」

同選手の言葉

「苦しい舞台、大変な舞台で苦しそうな顔、つらそうな顔するのは、誰にでもできると思うんですけど、（苦しい中）楽しむには、たぶん覚悟がいる。」

「氷の上で不安に思ったら口に出して言う。一人で抱え込まず、落ち込まず、というのがチームで大事なことだと、この4年間で感じました。」

藤井五月選手がカーリングでの日本史上初の銀メダル獲得後に涙と共に語った言葉

「こんなに悔しい表彰式ってあるんだなっていうのを初めて感じて。（中略）このチームを本当に心から誇りに思います。」

流汗拓道の精神をまさに体現したようなカーリングチームの方々。なりたい自分になるために努力し、心を豊かにしている彼女たちに敬意を払わずにはられません。



学校評価報告

成果と課題は裏面を御覧ください

令和3年12月実施

○グラフの見方⇒青：そう思う 紫：どちらかといえばそう思う 黄：どちらかと言えばそう思わない 水色：思わない
 ○設問⇒1 授業のわかりやすさ 2 発表や話の聞き方 3 よさを伸ばす指導 4 タブレット活用 5 人間関係づくり 6 きまりを守る
 7 進んで挨拶をする 8 体力向上に向けた取組 9 教育相談体制 10 家庭学習習慣 11 丁寧な言葉遣い 12 環境整備（衛生）
 13 環境整備（学習） 14 環境整備（潤い） 15 安心安全な生活 16 安全な登下校 17 保：行事参加 生：110番 教：公開

<p>設問1 授業のわかりやすさ</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問6 きまりを守る</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問11 丁寧な言葉遣い</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問2 発表や話の聞き方</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問7 進んで挨拶をする</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問12 環境整備（衛生）</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問3 よさを伸ばす指導</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問8 体力向上に向けた取組</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問13 環境整備（学習）</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問4 タブレット活用</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問9 教育相談体制</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問14 環境整備（潤い）</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問5 人間関係づくり</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問10 家庭学習習慣</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問15 安心安全な生活</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p style="text-align: center;">善泉賞メーター</p> <p style="text-align: center;">現在 1100 枚発行</p> <p>【 推薦者内訳 】 ※2月末日まで 生徒845枚 教員239枚 市教委9枚 地域の方7枚</p> <p>〇たくさんの「よさ」を認め合った結果、昨年度を大幅に超える賞を発行することができました！</p>	<p style="text-align: center;">『西中ブログ』を更新中！</p> <p>◇ブログをほぼ毎日更新し、おかげさまで多くの方に閲覧していただいております。引き続きよろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;">こちらのQRコードからアクセスできます。ぜひ御覧ください！</p> 	<p>設問16 安全な登下校</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>設問17 教:公開 保:行事参加 生:110番</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>

学校評価報告～成果と課題解決のための取組～

◎おかげさまで生徒・保護者・地域の皆様の評価で、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えられた割合が80%以上の設問は、全17設問中9設問でした。(設問1、3、5、6、7、11、12、13、16)本校の教育活動に御理解と御協力をありがとうございます。

以下に、今後、本校の教育活動等の更なる充実に向けて取り組むポイントについて御説明いたします。



◎学力向上について

本校にとって喫緊の課題の一つです。課題解決のため、単元テスト・再チャレンジテストを導入し学力向上を図っているところですが、引き続き、教職員の授業力向上を重点として校内研修の充実に取り組みます。普段から、生徒の授業に臨む態度はおおむね良好ですし、学校評価(生徒評価)の「人の話を聞く、考えを發表する」については、改善傾向にあります。しかし、目標の8割にはわずかに及ばなかったため、今後も教職員一同、「4人班での学び合い学習」を中心に、聴き合う関係づくりを推進しつつ、「自ら学ぶ生徒」の育成に努めます。

「家庭学習習慣の確立」については、校内学力向上推進委員会で、さらに検討を重ねてまいります。あわせて、スケジュール管理支援手帳の積極的活用を通じて生徒の主体性育成につなげます。

◎「教育相談体制」について

「困ったら先生や相談員に相談しますか」の問いに対し、生徒の72%が良好な答えであり、おおむね良いと考えられますが、さらに、生徒との信頼関係醸成のため生徒理解に努めます。



◎「自己の体力向上」について

特に、運動部活動に入部していない生徒について意識を高めることが必要であると考えます。本校は現在、「体力向上」について研究を進めています。全教職員が生徒の体力向上に課題意識を持ち、各教科、分掌等で、横断的に体力向上策を実行していきます。



◎「潤いのある環境整備」について

ほとんどの教職員が努力しています。掲示物を工夫したり、黒板をきれいに消したり、おすすめの本を設置したり、机の並びを整えたりする等は、当たり前のこととして今後も確実にいきます。校内掲示もさらに充実していきます。

今後は担任外の教職員についても、意識高揚を図り、よりよい環境づくりに努めます。



●保護者の皆様からのコメントより

・学校 HP やブログなど、子供の様子がわかるということは保護者にとってありがたいことです。先生方の生徒への愛が黒板メッセージから伝わってきます。

⇒ブログ更新を原則毎日行いました。今年度はペーパーレス化をさらに推進しました。今後も掲載内容の充実を図るとともにICTの活用を推進します。

・単元テストは教科ごとにバラバラな日程なので、計画を立てにくいようです。定期テストがあると計画を立てやすく、勉強がしやすいかと思います。

⇒生徒アンケートの結果から、単元テスト導入後、「学習時間が確実に増えた生徒」が7割、「わからないことが少なくなった生徒」は8割を超えており、学習時間は確実に増えていることが見て取れます。この取組のねらいは、短いスパンでの学習内容の定着と再チャレンジテスト実施による学習意欲の向上です。導入後は通知表の評定平均値も上昇傾向ですし、幸手市統一テストにおいて、第二学年の生徒は、5教科の内3教科において全国平均を超えており、成果が上がっています。生徒には予定を確実に伝え、スケジュール管理を自らできるよう、さらに指導してまいります。

・タブレットの使用について、指導をお願いします。

⇒「使用の決まり」の冊子を全家庭に配布しました。さらに、外部講師をお招きし、オンライン講座を開き、啓発を行いました。今後も継続的に指導します。御家庭でも適切な使用について、御指導をよろしく願いいたします。



・部活動について、生徒の可能性を学習以外でも伸ばせるように、大事にしてほしいと思います。

⇒おっしゃるとおりです。学校でも部活動を大事にしたいと考えます。限られた時間で効果のある練習を生徒と顧問が相談して行っています。各部または個人が目標をしっかりと定め、新型コロナ感染症予防を徹底しながら活動を充実させていきたいと考えます。

・ヘルメットをカゴに入れて帰る生徒がいます。ながらスマホで運転も見かけたことがあり危ないと思いました。御指導をお願いします。

⇒命に関わることで、より一層交通マナーを遵守する指導に取り組めます。

・先生方がとても生徒思いで、保護者への対応も良いだけに、コロナ渦や責任の重圧でストレスがあるのではないかと心配です。

⇒このような言葉をいただけることが教職員にとっての一番のストレス解消です。教職員が常に笑顔で生徒に寄り添い、よい授業等が提供できるように、教職員の職務が過度にならないよう努めます。

◎貴重な御意見をありがとうございました。



令和4年度始業式は4月8日（金）です。次年度もよろしく願いいたします。